

所の電車の停留所。^{イナツ}到津。三韓征伐の軍艦の帆柱を切り出したと傳へらるゝ製鐵所の上の皿倉山や帆柱山門司からこちらへ來る電車停留場の名で白木は新羅、葛葉は百濟、小森江は高麗で何れも三韓朝貢使の船のつく處であつたのだといふ事でありませう。第二は平家の没落の遺跡としては下ノ關の檀の浦。又今のビール會社などのある大里は内裏で。安徳天皇の行在所があつたと云ふ柳の御所のあとといふ處も残つてをります。第三は秀吉の朝鮮征伐の遺跡として大里の沖で彦島の西南に當る處には秀吉が瀬戸内海から出て九州の唐津方面へ渡船する時に其船がのし上げて沈没して大騒ぎをし爾來其船頭の名からして與次兵衛岩といふ有名な暗礁がありまして其後も航海者の難處でありましたが今は内務省の手でやつと片付けられました。六連島なども近く景色のよい處であります。第三には徳川時代に小倉の小笠原家に指南役をして居た宮本武藏は下の關と彦島の間にある今の岩柳島で佐々木岩柳と仕合をしたのは有名な事で皆様も御存じと存じます。昔から宮本武藏に關する石碑も残つて居ります。徳川時代には筑前は黒田領。豊前は小笠原領で其兩國の境の印はこゝから一町程東の官舎の中に今も昔のまゝの松の木が残つて居ります。第四は維新時代に門司から小倉へかけては長州藩と小倉藩と激戦をした處で小倉の勝山城は其時に焼かれてしまつたのであります。又八幡の町はづれの黒崎はもとは八幡よりづつと賑かな宿場でこゝから船で下ノ關と直通して行ける様になつて居つたのですがその櫻屋といふ本陣は例の七郷の長州港から更に九州に落ちのびる時暫く滞留して居たと云ふので其碑などが建つて居り其外にも西郷隆盛や平野國臣などの維新の大人物が往復に立寄つた處だと云ふので有名であります。今度の工場見學の内の安川電機會社は此櫻屋の角から入るのでありまして此宿屋は今も全盛にやつて居ります。第五には明治時代になりましては小倉の城跡に出來た第十四聯隊には乃木大將が少佐時代に聯隊長となり明治 10 年の征南の役に熊本城と聯絡すべくこゝから出られたのであります今其の居宅のあとに印の杭が建てゝあります。

以上開會の辭としては餘りに長くなりましてつまらぬ事に清聴を煩ははした事をお詫いたします。

(了)

鐵鑛の産地調

内地重要鐵山		産地		鑛量
産地	鑛量			
釜石(岩手縣)	3,500 萬噸	鞍山(日支合辦)	富鐵鑛	200 萬噸
俱知安(北海道)	550 萬		貧鐵鑛	4億0000 萬
赤谷(新潟縣)	400 萬	支那		
その他		金嶺鎮(日支合辦魯大公司山東)		1,570 萬
朝鮮		龍畑(直隸)		4,200 萬
茂山(三菱製鐵成北)	1億0,000 萬	經山(河南)		75 萬
端川(")	1,000 萬	大冶(漢冶萍公司湖北)		3,560 萬
載寧(農商務省所有黃海道)	150 萬	象鼻山(官營湖北)		1,000 萬
滿洲		紀象絡(官營及漢冶萍湖北)		1,500 萬
兒溝(煤鐵公)	140 萬	桃沖(裕繁公司安徽)		500 萬
司奉天)	7,000 萬	太平(安徽)		5,400 萬
了張嶺(日支合辦遼陽縣)	250 萬	銅官山(裕繁公司安徽)		4,300 萬
	2億6,000 萬	鳳凰山(安徽)		2,000 萬
		牛首山(江蘇)		500 萬